

エジプト 柑橘類の輸出が21%増加

FreshPlaza 2023年8月16日

エジプトの公式輸出記録によると、今シーズンの柑橘類の輸出量は昨年と比較して21%増加した。2022年9月から2023年6月までに、エジプトはすべての品目を合わせて9億7,655万6,475米ドル相当の196万4,026トン*の柑橘類を輸出した。オレンジが柑橘類輸出の大部分を占め、前年度比22%増の165万5,332トン*であった。(訳注*:原文にリンクした元のデータに基づき数字の誤りを修正しました。)

これらの数字について、輸出業者ゲリル社のエスラム・ゲリルCEOに話を聞いた。(以下「」は同CEOの発言)

「昨シーズンは、スペイン、南アフリカ、モロッコでの悪天候、干ばつ、洪水により世界的に柑橘類が不足する中で、エジプト産柑橘類の需要が高かった。そのような状況下で、エジプトはその豊富で高品質な生産物で際立っていた。農業生産部門の成功は、包装の品質、物流、及び梱包施設の近代化における大きな進歩と同時に進行した。これらすべての自然要因と生産者と輸出業者のパフォーマンスにより、エジプトは輸出量と輸出額の両方で史上最高のシーズンを達成することができた。」

競争国の天候条件は、エジプトに有利となる当該国の輸出の減少を引き起こしただけでなく、エジプト産柑橘類の輸入の急増につながった。たとえば、スペインのエジプト産オレンジ輸入量は、昨シーズンの25トンから今シーズンは約9万トンに増加した。

価格の変動にもかかわらず、公式の数値は、輸出額の増加率が輸出量と同じ21%であることを示している。「価格はシーズンを通して上下したが、全般的に満足のいくものであった。小玉が多いことが心配であったが、市場に他の選択肢がなかったため、最終的には取引先が受け入れてくれた。」

エジプトの柑橘類の輸出は10億ドルの大台に近づいており、次のシーズンが始まる前にこの数字を超えることを排除するものではない。「出荷シーズンは終わっておらず、我々は冷蔵保存した果実をまだ輸出している。いずれにしても、来シーズンはこの大台を超えるだろう。」

ゲリル氏によると、来シーズンの栽培面積はかなり増加する。「すべてのことは、天候条件等の生産の面でもマーケティングの面でも、柑橘類産業の一般的な構造が変わらないことを示している。多くの投資家がこのセクターに参加し、柑橘類や他の作物が新しい土地に植えられている。エジプトは世界の食料バスケットになりつつあり、世界中で最も必要とされている作物を生産する上で主要な役割を果たしている。そのため、柑橘類、タマネギ、ジャガイモ、ニンニクなどの面積が増加している。」

「弊社は、700以上あるエジプトの柑橘類輸出業者の中で4位の地位を占め、昨年より28%多い4万トン以上を輸出し、全国平均よりも早く成長していることを光栄に思う。」

執筆者: ユーネス・ベンサイド

統計データ(アラビア語形式)は [こちら](#) (下表はリンク先のひとつを通常の形式に変換したもの)

エジプトの柑橘類輸出 直近(2022年9月~2023年6月)と前年同期の比較							
番号	品目	2021-2022		2022-2023		増減率	
		トン	米ドル	トン	米ドル	輸出量	輸出額
1	生鮮オレンジ	1,361,192	656,242,209	1,655,332	774,455,343	22%	18%
2	生鮮タンジェリン	153,352	92,218,611	178,474	129,211,655	16%	40%
3	生鮮レモン(adalia 種)	94,153	48,423,577	105,543	58,107,165	12%	20%
4	グレープフルーツ	15,128	10,228,844	23,501	14,326,989	55%	40%
5	その他の柑橘類	51	27,695	1,024	353,444	1,918%	1,176%
6	生鮮レモン(benzhir 種)	79	49,575	152	101,879	92%	106%
合計		1,623,955	807,190,511	1,964,026	976,556,475	21%	21%

出典: 輸出入管理総局 外国貿易データ

輸出シーズンは9月に始まり翌年の8月まで続く